

藤園中・城東小学校整備事業だより 第1号

第1回「意見交換会」を開催しました

藤園中学校・城東小学校は、学校の老朽化のために近く改築が見込まれています。改築を契機に、こどもたちにとって良好な教育環境を確保するとともに、地域の拠点としての魅力的な学校づくりを行うための検討を進めており、基本構想を策定しました。

城東校区における魅力ある学校づくりに向け、円滑な諸準備に必要な事項について意見交換を行う場として、城東校区自治協議会会長、PTA会長、PTAボランティア代表、各校の校長、校区自主防災クラブ等により、「第1回 藤園中学校・城東小学校 魅力ある学校づくり意見交換会」を2月27日(火)に開催しました。

まず、事務局から基本計画の目的、魅力ある学校づくり基本構想、配置比較表、新しい学校づくりワークショップの結果について説明を行いました。その後、「学校・地域の共創空間の創造について」をテーマとして意見交換を行いました。

主な意見

■地域の拠点となる機能的な施設整備について

- ・ コミュニティセンターは、学校の建替えに伴う検討にとどまらず、市庁舎の建替えなど、別事業とも併せて検討してもらいたい。
- ・ コミュニティセンターは、城東校区内(町内会域)に整備してもらいたい。
- ・ 学校に地域拠点機能を持たせるならば、コミュニティセンターでなくとも、地域が使える会議室等(例えば公民館など)でもいいと思う。

■余剰地及び余剰スペースの活用について

- ・ 民間施設を検討していく上で、土地の使用条件についても提示してもらいたい。
- ・ 民間施設と児童・生徒との入口は分けた方が良い。
- ・ ホテルや飲食店等の不特定多数が利用する施設は望ましくない。セキュリティ面が心配である。
- ・ 子ども達が遊べる場所、育児相談ができる場所、思春期の子どもが憩える場所をつくってもらいたい。
- ・ バasketボールのハーフコート、テニスコートを作り、休日に使えると良い。
- ・ 保護者の立場から、学校施設利用者、公共施設利用者が使える駐車場があると良い。

■次第

- 1 開会
- 2 教育委員会あいさつ
- 3 事業概要の説明
- 4 意見交換



テーマ:学校・地域の共創空間の創造について

- (1) 地域の拠点となる機能的な施設整備について
- (2) 避難所機能を有した施設整備について
- (3) 余剰地及び余剰スペースの活用について
- 5 閉会

■その他意見

- ・ 校地の有効活用を図ってもらいたい。
- ・ 工事中のあおば支援学校の登下校の安全性を確保してもらいたい。
- ・ 熊本城への眺望を確保してもらいたい。
- ・ 小学校と中学校の児童・生徒が一度に利用できる大きな空間(図書館)を整備してもらいたい。
- ・ 送迎、部活動、地域住民の利用を考慮し、あおば支援学校の屋根を残してもらいたい。

活発な意見交換が行われ、特にコミュニティセンターや民間施設について多くの意見が出されました。魅力ある学校づくりに向け、引き続き検討を進めていきます。意見交換会は、3か月に1回程度開催を予定しています。

ご質問やご意見等がございましたら、熊本市教育委員会事務局の指導課又は教育改革推進課までお寄せください。

【指導課】(096)328-2721

【教育改革推進課】(096)328-2708

藤園・江南中学校等魅力ある学校づくり整備事業のホームページを開設しました。新校準備会等についても、情報を掲載していきますので、ぜひご覧ください。



本紙は、熊本市教育委員会が発行しています。